

【No.189】 シスプラチン大量療法(放射線併用)

病名 _____ ID _____ - _____ 氏名 _____ (才)(男・女) ※化学療法承諾書要作成
 身長 _____ cm 体重 _____ kg 体表面積 _____ m² PS 0・1・2・3・4
 _____ 科 主治医 _____ 治療ライン _____ 次治療 _____ 服薬指導 依頼する・不要
 HBs抗原(+)→HBV DNA()、HBs抗原(-)→HBc抗体()HBs抗体() 確認医(科長) _____

シスプラチン添付文書より抜粋
 ・重篤な腎障害のある患者に禁忌(Ccr30未満)
実施基準(元文献より引用)
 ・WBC>3500/ μ L、Hb \geq 10g/dL、PLT \geq 10万/dL、
 Cr \leq 1.2mg/dL、Ccr \geq 70mL/min、T-Bil \leq 1.5mg/dL、
 AST,ALT \leq (UNL) \times 2.5
減量基準(元文献より引用)
 80%減量：前回投与後に以下の検査所見の場合
 ①WBC<1000/ μ L、Neut<500/ μ L、PLT<2.5万/dL
 ②投与2日以内に、50 \leq Ccr<60mL/min
 60%減量：前回投与後に以下の検査所見の場合
 投与2日以内に、40 \leq Ccr<50mL/min
 投与中止：投与2日以内に、Ccr<40mL/min

コース	体重	day1	2	3	4	5	6	7	指示	受領

※化学療法実施当日の2号紙に、実施の可否について記載すること。(記載確認後ミキシング開始となります。)
 除外基準：PS \geq 2、インスリンを要するDM、治療を要する心電図異常、狭心症、心不全、COPD、間質性肺炎、活動性の細菌・真菌感染症、精神疾患、精神症状、HBs抗原陽性、HCV抗体陽性、HIV抗体陽性

指示内容	点滴時間 計算値	計算式 催吐リスク	実施日	day1	2	3	4	5	6	7
① ○ポート患者 生食20mlシリンジ(穿刺)生食250mlでルート確保 ○末梢患者 生食250mlでルート確保			指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
② 生食1000ml	240分 ルート1		指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
③ 生食100ml + パロノセトロン1V + デキサート6.6mg + アロカリス1V ※終了後、①残液でフラッシュ	30分 ルート2		指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
④ (ケモ専用)生食 _____ ml + シスプラチン _____ mg 変更1: 生食 _____ ml + _____ mg (変更日: _____) ※終了後、①残液でフラッシュする。合計480mLとする。	120分 ルート2 _____ mg	100mg/m ² 高度 90%以上	指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
⑤ 20%マンニトール 300ml (60分) ⑥ 生食50ml + ランックス1A (全開)			指示	●						
			受領							
			入力							
			実施							
⑦ 生食1000ml 2回	240分 \times 2		指示	●			●	●	●	●
			受領							
			入力							
			実施							
⑧ 生食1000ml 3回	240分 \times 3		指示		●	●				
			受領							
			入力							
			実施							
⑨ 生食100ml + デキサート3.3mg	30分		指示		●	●	●	●	●	●
			受領							
			入力							
			実施							
			指示							
			受領							
			入力							
			実施							
			指示							
			受領							
			入力							
			実施							
3週毎 3コース	太枠内は原本に記入せず、コピーして使用すること。									